



支援制度早見表

大災害であなたが使える支援制度

令和8年4月版 作成：弁護士 永野 海

避難所 数日から数ヶ月の利用（無料）	緊急修理制度 <2026基準> 準半壊程度以上 5万6400円 屋根や壁のフルシート工事など	応急修理制度 <2026基準> 半壊以上 75万7000円 準半壊 36万7000円	被災者生活再建支援金 基礎支援金 全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円	火災(地震) 保険・共済 火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし	
仮設住宅 原則 2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性	義援金 家族の死亡や住家被害の程度により支給される	自治体の独自支援 追加支援・補助等自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集	災害弔慰金 家族の死亡時に遺族に 500万円 又は 250万円 支給	災害援護資金貸付 1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大 350万円 貸付	雑損控除 (災害減免法) 建物・家財・車・墓地などの損害の確定申告によって税金が減免される
公費解体 原則全壊が対象。特定非常災害等なら半壊以上の建物を無料で解体・撤去	被災者生活再建支援金 加算支援金 建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額	被災ローン減免制度 住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除	リバースモーゲージ <高齢者返済特例> 60歳以上なら、不動産評価の6割まで借り入れ、返済は利息だけでOK	災害復興住宅融資 (建設・購入・補修) 建設・購入資金は半壊以上、補修は一部損壊以上が融資の条件	災害公営住宅 収入に応じて家賃は変動。当初数年は家賃の特例あり

はじめに

被災した時に使える支援制度は、皆さんがもらった罹災証明書の種類だけでなく、

- ・特定非常災害の指定があるか
- ・災害救助法の適用があるか
- ・被災者生活再建支援法の適用があるか

などによって変わります。

この早見表は、これらの法律の適用がある大災害を前提にしています。

使えない制度が表に含まれていることもあります。あくまで参考としてご使用ください。


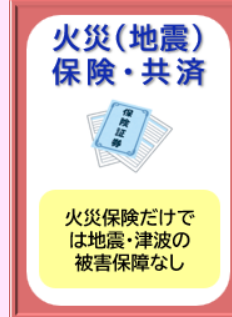

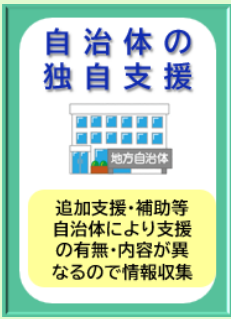




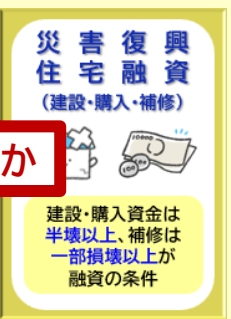
一部損壊で 修理したい

支援制度がフルに
使える**大災害時**を
想定して、カードを
貼っています。

そのため、実際には
使えないカードも
ありますし、利用に
条件があるものも
あります。

〈ひさぼ〉のHP
も見てね！



現在の生活場所	費用無料	万円	万円	万円	万円
	 <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>			 <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の 被害保障なし</p>	
途中の生活場所	万円	万円	万円	万円	税金還付
	 <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住 家被害の程度に より支給される</p>	 <p>自治体の 独自支援</p> <p>追加支援・補助等 自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	<p>避難生活中に 亡くなった場合は 災害弔慰金申請も 検討を(関連死)</p>		 <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地 などの損害の 確定申告によって 税金が減免される</p>
最終的な住まい	解体費無料	万円	借金の減免	上限2500万円	上限2500万円
 <p>自宅を修理</p>			 <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>	 <p>リバース モーゲージ <高齢者返済特例></p> <p>60歳以上なら、不 動産評価の6割ま で借り入れ、返済 は利息だけでOK</p>	 <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊以上、補修は 一部損壊以上が 融資の条件</p>

どちらか

一部損壊で

賃貸住宅の人

支援制度がフルに使える**大災害時**を想定して、カードを貼っています。

そのため、実際には使えないカードもありますし、利用に条件があるものもあります。

〈ひさぼ〉のHPも見てね！



現在の生活場所	費用無料	万円	万円	万円	万円
	 片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談			 火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし	
途中の生活場所	万円	万円	万円	万円	税金還付
	 家族の死亡や住家被害の程度により支給される	 追加支援・補助等自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集		 建物・家財・車・墓地などの損害の確定申告によって税金が減免される	
最終的な住まい	解体費無料	万円	借金の減免	万円	万円
			 住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除		

準半壊で



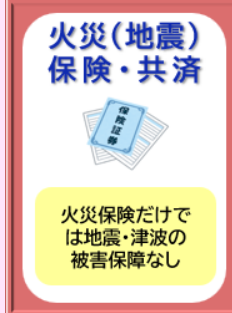

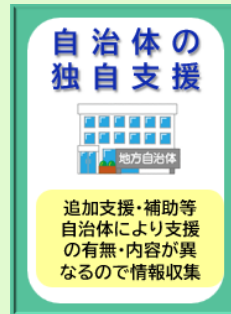
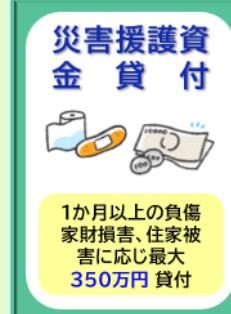
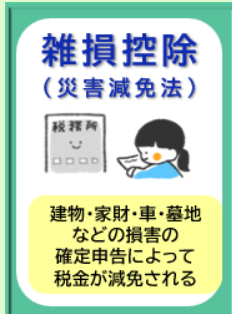



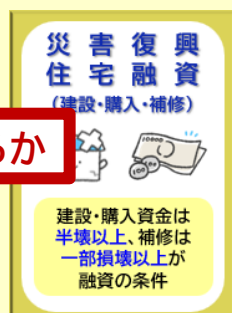
修理したい

支援制度がフルに使える**大災害時**を想定して、カードを貼っています。

そのため、実際には使えないカードもありますし、利用に条件があるものもあります。

〈ひさぼ〉のHPも見てね！



現在の生活場所	5.64 万円	36.7 万円	万円	万円	万円
	 <p>緊急修理制度 <2026基準> 準半壊程度以上 5万6400円 屋根や壁のブルーシート工事など</p>	 <p>応急修理制度 <2026基準> 半壊以上 75万7000円 準半壊 36万7000円</p>		 <p>火災(地震)保険・共済 火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>	
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限150万円 家財1/3被害	税金還付
	 <p>義援金 家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	 <p>自治体の独自支援 追加支援・補助等自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>	<p>避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>	 <p>災害援護資金貸付 1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	 <p>雑損控除(災害減免法) 建物・家財・車・墓地などの損害の確定申告によって税金が減免される</p>
最終的な住まい	解体費無料	万円	借金の減免	上限2500万円	上限2500万円
 <p>自宅を修理</p>			 <p>被災ローン減免制度 住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>	 <p>リバースモーゲージ <高齢者返済特例> 60歳以上なら、不動産評価の6割まで借り入れ、返済は利息だけでOK</p>	 <p>災害復興住宅融資 (建設・購入・補修) 建設・購入資金は半壊以上、補修は一部損壊以上が融資の条件</p>

どちらか

準半壊で

賃貸住宅の人

支援制度がフルに使える**大災害時**を想定して、カードを貼っています。

そのため、実際には使えないカードもありますし、利用に条件があるものもあります。

〈ひさぼ〉のHPも見てね！



現在の生活場所	費用無料	万円	万円	万円	万円
	 片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談			 火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし	
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限150万円 家財1/3被害	税金還付
	 家族の死亡や住家被害の程度により支給される	 追加支援・補助等自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集	避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を（関連死）	 1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付	 建物・家財・車・墓地などの損害の確定申告によって税金が減免される
最終的な住まい	解体費無料	万円	借金の減免	万円	万円
			 住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除		

半壊で 修理したい

支援制度がフルに使える**大災害時**を想定して、カードを貼っています。

そのため、実際には使えないカードもありますし、利用に条件があるものもあります。



現在の生活場所	5.64 万円	75.7 万円	万円	万円	万円
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限170~万円	税金還付
最終的な住まい	解体費無料	万円	借金の減免	上限2500 万円	上限2500万円

原則どちらか

避難生活中に亡くなった場合は災害弔慰金申請も検討を (関連死)

どちらか

半壊で


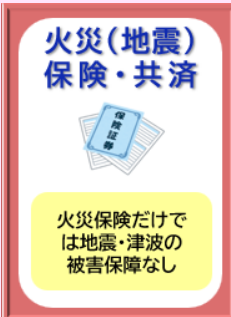


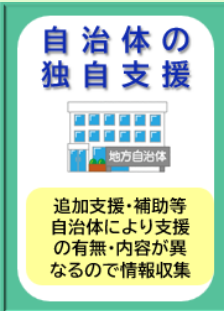
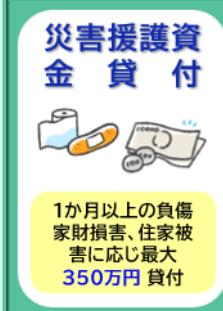


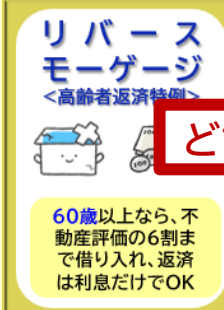
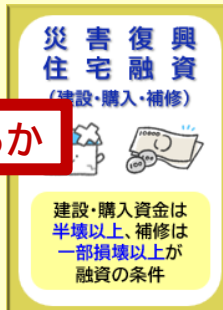
賃貸住宅の人
〈住んでいた家が
解体されない場合〉

支援制度がフルに
使える**大災害時**を
想定して、カードを
貼っています。

そのため、実際には
使えないカードも
ありますし、利用に
条件があるものも
あります。

〈ひさぼ〉のHP
も見てね！



現在の生活場所	費用無料	万円	万円	万円	万円
	 <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>			 <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけで は地震・津波の 被害保障なし</p>	
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限170~万円	税金還付
	 <p>仮設住宅</p> <p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	 <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住 家被害の程度に より支給される</p>	 <p>自治体の 独自支援</p> <p>追加支援・補助等 自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	 <p>災害援護資 金貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円貸付</p>	 <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地 などの損害の 確定申告によって 税金が減免される</p>
最終的な住まい	解体費無料	万円	借金の減免	上限5500万円	上限5500万円
			 <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>	 <p>リバース モーゲージ <高齢者返済特例></p> <p>60歳以上なら、不 動産評価の6割ま で借り入れ、返済 は利息だけでOK</p>	 <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊以上、補修は 一部損壊以上が 融資の条件</p>

どちらか

半壊以上で

賃貸住宅の人
〈住んでいた家が
解体された場合〉

支援制度がフルに
使える**大災害時**を
想定して、カードを
貼っています。

そのため、実際には
使えないカードも
ありますし、利用に
条件があるものも
あります。

〈ひさぼ〉のHP
も見てね！



現在の生活場所	費用無料	万円	100万円 (単身)は3/4	万円	万円
<p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>			<p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけで は地震・津波の 被害保障なし</p>	
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限250~万円	税金還付
<p>仮設住宅</p> <p>原則 2年 以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>義援金</p> <p>家族の死亡や住 家被害の程度に より支給される</p>	<p>自治体の 独自支援</p> <p>追加支援・補助等 自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	<p>災害 弔慰金</p> <p>家族の死亡時に遺 族に 500万円 又 は 250万円 支給</p> <p>避難生活中に 亡くなった場合も 災害弔慰金申請も 検討を (関連死)</p>	<p>災害援護資 金貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円 貸付</p>	<p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地 などの損害の 確定申告によって 税金が減免される</p>
最終的な住まい	解体費無料	50~200万円 (単身)は3/4	借金の減免	上限5500万円	上限5500万円
	<p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間借借 50万 *中規模半壊は上 の各半額</p>	<p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>	<p>リバース モーゲージ 〈高齢者返済特例〉</p> <p>60歳以上なら、不 動産評価の6割ま で借り入れ、返済 は利息だけでOK</p>	<p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊以上、補修は 一部損壊以上が 融資の条件</p>	<p>どちらか</p>

半壊以上で

持ち家を 解体したい

支援制度がフルに
使える**大災害時**を
想定して、カードを
貼っています。

そのため、実際には
使えないカードも
ありますし、利用に
条件があるものも
あります。

〈ひさぼ〉のHP
も見てね！



現在の生活場所	費用無料	万円	100万円 (単身)は3/4	万円	万円	
	<p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>		<p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけで は地震・津波の 被害保障なし</p>		
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限250~万円	税金還付	
	<p>仮設住宅</p> <p>原則 2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>義援金</p> <p>家族の死亡や住 家被害の程度に より支給される</p>	<p>自治体の 独自支援</p> <p>追加支援・補助等 自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	<p>災害 弔慰金</p> <p>家族の死亡時に遺 族に 500万円 又 は 250万円 支給</p> <p>避難生活中に 亡くなった場合も 災害弔慰金申請も 検討を (関連死)</p>	<p>災害援護資金 貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円 貸付</p>	<p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地 などの損害の 確定申告によって 税金が減免される</p>
最終的な住まい	解体費無料	50~200万円 (単身)は3/4	借金の減免	上限5500万円	上限5500万円	
	<p>公費解体</p> <p>原則全壊が対象。 特定非常災害等なら 半壊以上の建物を 無料で解体・撤去</p>	<p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上 の各半額</p>	<p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>	<p>リバース モーゲージ <高齢者返済特例></p> <p>60歳以上なら、不 動産評価の6割ま で借入れ、返済 は利息だけでOK</p>	<p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊以上、補修は 一部損壊以上が 融資の条件</p>	

特定非常
災害の時
に使える

どちらか

中規模半壊で

修理したい

支援制度がフルに
使える**大災害時**を
想定して、カードを
貼っています。

そのため、実際には
使えないカードも
ありますし、利用に
条件があるものも
あります。

〈ひさぼ〉のHP
も見てね！



現在の生活場所	5.64 万円	75.7 万円	万円	万円	万円
	緊急修理制度 ＜2026基準＞ 準半壊程度以上 5万6400円 屋根や壁のブルーシート工事など	応急修理制度 ＜2026基準＞ 半壊以上 75万7000円 準半壊 36万7000円		火災(地震)保険・共済 火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし	
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限170～万円	税金還付
	仮設住宅 原則 2年 以内 家賃無料 半壊も入居可能性	義援金 家族の死亡や住家被害の程度により支給される	自治体の独自支援 追加支援・補助等自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集	災害弔慰金 家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給 避難生活中に亡くなった場合も災害弔慰金申請も検討を(関連死)	災害援護資金貸付 1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付
最終的な住まい	解体費無料	50 (単身)は3/4 万円	借金の減免	上限2500 万円	上限2500万円
	自宅を修理	被災者生活再建支援金 加算支援金 建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額	被災ローン減免制度 住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除	リバースモーゲージ ＜高齢者返済特例＞ 60歳以上なら、不動産評価の6割まで借入れ、返済は利息だけでOK	災害復興住宅融資 (建設・購入・補修) 建設・購入資金は半壊以上、補修は一部損壊以上が融資の条件

原則どちらか

どちらか

中規模半壊で

賃貸住宅の人
〈住んでいた家が
解体されない場合〉

支援制度がフルに
使える**大災害時**を
想定して、カードを
貼っています。

そのため、実際には
使えないカードも
ありますし、利用に
条件があるものも
あります。

〈ひさぼ〉のHP
も見てね！



現在の生活場所	費用無料	万円	万円	万円	万円
	<p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>			<p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけで は地震・津波の 被害保障なし</p>	
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限170~万円	税金還付
	<p>仮設住宅</p> <p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>義援金</p> <p>家族の死亡や住 家被害の程度に より支給される</p>	<p>自治体の 独自支援</p> <p>追加支援・補助等 自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	<p>災害援護資 金貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円貸付</p>	<p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地 などの損害の 確定申告によって 税金が減免される</p>
最終的な住まい	解体費無料	25~100 (単身)は3/4 万円	借金の減免	上限5500万円	上限5500万円
	<p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上 の各半額</p>	<p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ロー ンの減額・免除</p>	<p>リバース モーゲージ <高齢者返済特例></p> <p>60歳以上なら、不 動産評価の6割ま で借り入れ、返済 は利息だけでOK</p>	<p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊以上、補修は 一部損壊以上が 融資の条件</p>	<p>どちらか</p>

大規模半壊で

修理したい

支援制度がフルに
使える**大災害時**を
想定して、カードを
貼っています。

そのため、実際には
使えないカードも
ありますし、利用に
条件があるものも
あります。

〈ひさぼ〉のHP
も見てね！



現在の生活場所	5.64 万円	75.7 万円	50 (単身)は3/4 万円	万円	万円	
	<p>緊急修理制度 <2026基準> 準半壊程度以上 5万6400円 屋根や壁のブルーシート工事など</p>	<p>応急修理制度 <2026基準> 半壊以上 75万7000円 準半壊 36万7000円</p>	<p>被災者生活再建支援金 基礎支援金 全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>火災(地震)保険・共済 火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>		
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限170~万円	税金還付	
	<p>仮設住宅 原則 2年 以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>義援金 家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>自治体の独自支援 追加支援・補助等自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>	<p>災害弔慰金 家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給</p> <p>避難生活中に亡くなった場合も災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>	<p>災害援護資金貸付 1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	<p>雑損控除(災害減免法) 建物・家財・車・墓地などの損害の確定申告によって税金が減免される</p>
最終的な住まい	解体費無料	100 (単身)は3/4 万円	借金の減免	上限2500 万円	上限2500 万円	
	<p>自宅を修理</p>	<p>被災者生活再建支援金 加算支援金 建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額</p>	<p>被災ローン減免制度 住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>	<p>リバースモーゲージ <高齢者返済特例> 60歳以上なら、不動産評価の6割まで借り入れ、返済は利息だけでOK</p>	<p>災害復興住宅融資 (建設・購入・補修) 建設・購入資金は半壊以上、補修は一部損壊以上が融資の条件</p>	

原則どちらか

どちらか

大規模半壊で

賃貸住宅の人
〈住んでいた家が
解体されない場合〉

支援制度がフルに
使える**大災害時**を
想定して、カードを
貼っています。

そのため、実際には
使えないカードも
ありますし、利用に
条件があるものも
あります。

〈ひさぼ〉のHP
も見てね！



現在の生活場所	費用無料	万円	50万円 (単身)は3/4	万円	万円	
	 ボランティア 専門家支援 片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談		 被災者生活再建支援金 基礎支援金 全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円	 火災(地震) 保険・共済 火災保険だけで は地震・津波の 被害保障なし		
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限170~万円	税金還付	
	 仮設住宅 原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性	 義援金 家族の死亡や住 家被害の程度に より支給される	 自治体の 独自支援 追加支援・補助等 自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集	 災害弔 慰金 家族の死亡時に遺 族に500万円又は 250万円支給 避難生活中に 亡くなった場合も 災害弔慰金申請も 検討を(関連死)	 災害援護資 金貸付 1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円貸付	 雑損控除 (災害減免法) 建物・家財・車・墓地 などの損害の 確定申告によって 税金が減免される
最終的な住まい	解体費無料	50~200万円 (単身)は3/4	借金の減免	上限5500万円	上限5500万円	
	 被災者生活再建支援金 加算支援金 建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上 の各半額	 被災ローン 減免制度 住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除	 リバース モーゲージ <高齢者返済特例> 60歳以上なら、不 動産評価の6割ま で借入れ、返済 は利息だけでOK	 災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修) 建設・購入資金は 半壊以上、補修は 一部損壊以上が 融資の条件	どちらか	

全壊で 持ち家を 解体したい

支援制度がフルに
使える**大災害時**を
想定して、カードを
貼っています。

そのため、実際には
使えないカードも
ありますし、利用に
条件があるものも
あります。



現在の生活場所	費用無料	万円	100万円 (単身)は3/4	万円	万円	
	 片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談		 全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円	 火災保険だけで は地震・津波の 被害保障なし		
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限350万円	税金還付	
	 原則 2年 以内 家賃無料 半壊も入居可能性	 家族の死亡や住 家被害の程度に より支給される	 追加支援・補助等 自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集	 家族の死亡時に遺 族に 500万円 又 は 250万円 支給	 1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円 貸付	 建物・家財・車・墓地 などの損害の 確定申告によって 税金が減免される
最終的な住まい	解体費無料	50~200万円 (単身)は3/4	借金の減免	上限5500万円	上限5500万円	
	 原則全壊が対象。 特定非常災害等なら 半壊以上の建物を 無料で解体・撤去	 建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上 の各半額	 住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除	 60歳以上なら、不 動産評価の6割ま で借り入れ、返済 は利息だけでOK	 建設・購入資金は 半壊以上、補修は 一部損壊以上が 融資の条件	

どちらか

全壊で

賃貸住宅の人

支援制度がフルに使える**大災害時**を想定して、カードを貼っています。

そのため、実際には使えないカードもありますし、利用に条件があるものもあります。

〈ひさぼ〉のHPも見てね！



現在の生活場所	費用無料	万円	100万円 (単身)は3/4	万円	万円	
	<p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>		<p>全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>		
途中の生活場所	万円	万円	万円	上限250~万円	税金還付	
	<p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>追加支援・補助等自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>	<p>家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給</p> <p>避難生活中に亡くなった場合も災害弔慰金申請も検討を(関連死)</p>	<p>1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	<p>建物・家財・車・墓地などの損害の確定申告によって税金が減免される</p>
最終的な住まい	解体費無料	50~200万円 (単身)は3/4	借金の減免	上限5500万円	上限5500万円	
		<p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額</p>	<p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>	<p>60歳以上なら、不動産評価の6割まで借り入れ、返済は利息だけでOK</p>	<p>建設・購入資金は半壊以上、補修は一部損壊以上が融資の条件</p>	

どちらか